

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 3 日

評価対象事業	消防 - 09	指令活動事業	☐ 法定受託事務	
所管課	消防本部 指令情報課		評価者 指令情報課長 竹ノ谷 直人	
一般	会計	款 50	項 05	目 05
総合計画上の位置付け	分野名	5 -(1) 防災・安全	施策の方針名	5 -(1)-③ 消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市民等を各種災害から保護するため
効果	災害に強い、安全で安心して暮らせるまちづくりを図る		

2 事業工程と運営資源配分

■ 単年度事業 □ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ■ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	指令センターの更新に伴う安定運用	消防救急デジタル無線活動波設備整備	指令センター等の安定運用
予算額（千円）	132,348	538,519	
国県支出金	10,000		
地方債		433,900	
その他			
一般財源	122,348	104,619	0
当初人員配置数	15.0	14.0	0.0
人件費（千円）	128,055	123,564	0
事業実績	指令センターの更新に伴う安定運用		
決算額（千円）	126,776		
国県支出金	10,000		
地方債			
その他			
一般財源	116,776	0	0
人員配置実績数	14.0	0.0	0.0
人件費（千円）	115,962	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	指令センター安定稼働率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	指令システムの運用管理及び保守調整等を予定どおり行い、安定稼働に寄与し災害対応に従事する目標を達成することができた。				12,814		
活2	指標名	指令センター点検実施率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	指令設備及び通信設備の定期点検並びに動作確認を予定どおり行い、安定稼働に寄与し災害対応に従事する目標を達成することができた。				3,806		
活3	指標名	指令センター維持修繕実施率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	設備の不具合対応及び修繕対応を実施、安全稼働に寄与し災害対応に従事する目標を達成することができた。				718		
活4	指標名	災害緊急情報システム稼働率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	災害情報の収集、伝達及び情報共有を行い、災害対応に従事する目標を達成することができた。				1,917		
活5	指標名	活動波及び共通波通信試験実施率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	共通波及び活動波の運用管理並びに通信試験を実施し、安定稼働に寄与し災害対応に従事する目標を達成することができた。				95,036		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	指令センターの定期点検や維持修繕等を予定どおり実施したことで、新指令情報システムの安定稼働に寄与し、災害対応に従事することができた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	高機能消防指令センター及び各無線システムの継続稼働率	%	100	⇒	100			1 2 5

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	高機能消防指令センターの更新による通信指令体制の確立が図られた。 また、映像通報システムの活用により、救急需要をはじめとした災害の複雑化、通信技術の多様化に順応した対応が図られた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	高機能消防指令センター更新に伴い、一定の対応力向上が図られ、迅速かつ的確な指令業務の継続に寄与した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☒ 増えている ☐ 変わらない ☐ 減少している		
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市 ☐ 国・県 ☐ 民間事業者 ☐ なし		
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている ☐ 概ね出ている ☐ 出ていない		
	効率性	事業費削減余地	☐ ある ☒ なし		
		関連・類似事業との統合	☐ できる ☒ できない		
公平性	受益者負担	☐ 導入済 ☐ 導入予定 ☒ 導入できない			
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒ 評価実施翌年度以降の方向性				
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ 他事業と統合済 ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合			
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☒ ④ 予算規模は現状維持とする ☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☐ ⑤ 予算規模は拡大する ☐ 予算規模を縮小済 ☐ ⑥ 予算規模は縮小する			
	今後の取組方針（見直し方針）				
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし			
総評	各種消防通信設備の適切な運用管理等を実施し、安定した消防指令体制及び災害対応体制を維持することができた。				上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市の高機能消防指令センターは沖電気工業株式会社製であり、比較対象が乏しいことから他市比較に至らなかった。								